

## 学校のSDGs教育の支援として、オンラインでの出前授業を実施 ～地域交流・知育・教育支援・募金活動などを通じて、こどもたちを応援～

株式会社ファミリーマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：澤田貴司）は、こどもたちの教育支援の取り組みとして、SDGsなどをテーマに、社員を派遣して講義を行う「出前授業」や、こどもたちの訪問を受け入れる「企業訪問」を実施しております。2020年からは、新型コロナウイルスの影響を鑑み、オンラインによる「出前授業」を開始し、合計14校で実施いたしました。※2020年12月現在

今後も、社会環境の変化に応じて、様々な形式や内容で、こどもたちを応援する取り組みを実施してまいります。

### ◆こどものSDGs教育の支援など、多様なメニューを展開

出前授業は、小学校から高校までを対象に、ご依頼いただく各学校からのニーズに合わせて授業内容を決定しております。従来は、コンビニエンスストア業態や商品、サービスなどを紹介する授業が主でしたが、昨今では、SDGs（Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標）をテーマにした授業が増えております。SDGsの基本的な知識の説明だけでなく、当社のSDGsに関連した具体的な取り組みの紹介や、「環境」をテーマに自身の環境目標を考えていただくようなワークショップの開催なども行い、参加する皆さんが、自身の身近な話題を通じて、SDGsを考える学びの場の提供も行っております。



### ◆オンラインでも開催!!

新型コロナウイルスの影響も鑑み、現在では、オンラインを利用した出前授業も行っており、本年度開催の約7割がオンラインとなっております。オンライン出前授業は、インターネット環境がある学校であれば全国で実施可能です。

また、こどもたちのキャリア教育支援の一環として、職場体験の受け入れなども行ってまいりましたが、昨今は、「働くことは」や「仕事とは」をテーマにしたオンライン授業として開催するなど、各学校と連携して取り組みを進めております。



### ◆ご参考「被災地支援に関連した出前授業～ワカメ販売指導授業～」

2012年から毎年9月に、東日本大震災で津波被害を受けた岩手県大船渡市立末崎中学校で「ワカメ販売」を支援する授業を行っています。震災の影響で養殖施設や大切に育てたワカメを失った生徒たちが、それを乗り換え活動を再開していることを聞き、実際の販売時に役立つような挨拶や接客、手作り販促物の作成などをテーマにした出前授業を近隣の加盟店と合同で実施しています。今年9月で9回目を数え、今後も被災地支援の取り組みの一つとして継続してまいります。

### ◆その他のファミリーマートの「こども支援」の取り組み例について

#### ①ファミマこども食堂

ファミリーマートの店舗スペースを活用し、地域のこどもたちや近隣の皆さまが、食事を楽しみながら地域交流を図ることを目的とした取り組みです。食事だけでなく、レジ打ち体験や品出し体験などのメニューも用意しています（※店舗により、一部内容は異なります）。2019年4月から取り組みを始め、2019年度は全国で350回以上開催し、延べ4,000人以上が参加いたしました。2020年度は、コロナウイルス感染症予防に配慮し、ご家庭や学童施設と店舗をオンラインでつなぐ「デジタルファミマこども食堂」の取り組みも進めております。



#### ②ありがとうの手紙コンテスト

全国の小学生を対象に、「感謝の気持ち」を伝えることの大切さを学んでいただくことを目的に、2009年から毎年「ありがとうの手紙コンテスト」を開催しております。これまで12回の開催で延べ40万通の作品が寄せられました。2019年3月より文部科学省後援事業に認定され、実際の教育現場でもご活用いただいております。本年度は約3万通のご応募をいただきました。12月25日に審査結果を発表する予定です。



#### ③募金活動を通じたこども支援

ファミリーマートの店頭募金「夢の掛け橋募金」などを通じて、公益社団法人「セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン」や特定非営利活動法人「国際連合世界食糧計画 WFP 協会」の活動を支援しています。セーブ・ザ・チルドレンは、日本を含む120ヶ国でこども支援を行う、民間・非営利の国際組織です。緊急・人道支援や保健・栄養、教育などの分野で活動しています。国際連合世界食糧計画 WFP 協会は、飢餓をなくすことを使命に活動する WFP 国連世界食糧計画（以下、国連 WFP）を支援する認定 NPO 法人で、日本における公式支援窓口です。食料支援が世界の平和構築に寄与したことが認められ、国連 WFP は 2020 年のノーベル平和賞を受賞しました。

今後も、ファミリーマートでは、「あなたと、コンビニ、ファミリーマート」のもと、サステナビリティ活動を一層進化させることで、社会とともに持続的な成長を実現してまいります。

以上